

国際バカロレアアジア太平洋地区 年次研究大会の報告

東京インターナショナルスクール理事長
坪谷ニューエル郁子

国際バカロレアアジア太平洋地区年次研究大会 概要

- 日時 : 2017年3月29日～31日(3日間)
場所 : パシフィコ横浜
参加人数 : 1,000名超
ご来賓 : 秋篠宮殿下、秋篠宮妃殿下、
黒岩神奈川県知事、樋口文部科学政務官
基調講演 : 新井紀子 国立情報学研究所教授 他



日本の教育に関するプレゼンテーション(文部科学省)

森本前国際統括官より日本の教育について、参加者の皆様へプレゼンテーションいただきました。

- 日本の初等中等教育における基礎学力の高さ、PISAにおいても非常に高い成績を残していること
- 世界でも例を見ない掃除や給食における配給など、特別活動の紹介
- 世界では地域での習い事であり、学校では提供していない、クラブ活動の紹介

など、日本の教育における高い教育水準と多様な活動について、ご説明をいただき、大会参加者から非常に高い興味関心を集めました。

また、同セッションでは、渋谷奈良教育大学教授からIB導入事例の研究成果、東京学芸大学付属国際中等教育学校の先生から現場の学校での取組等についても紹介いただきました。

日本における国際バカロレアの更なる推進に向けて

国際バカロレアアジア太平洋地区年次研究大会を通して、
ジョージ・ルップ 国際バカロレア機構運営理事会理事長、
シヴァ・クマリ 国際バカロレア運営理事会事務局長と
日本における国際バカロレアの更なる推進に向けて、より一層
の協力強化をしていくことを確認しました。

また、多数の日本の大学がブース展示に出展、プレゼンテーションを行い、世界の国際バカロレア認定校に向けて、日本の大学における受け入れを積極的にアピールを行いました。